

平成18年 東京都のHIV感染者・AIDS患者の動向及び 検査・相談事業の実績

平成18年のトピックス

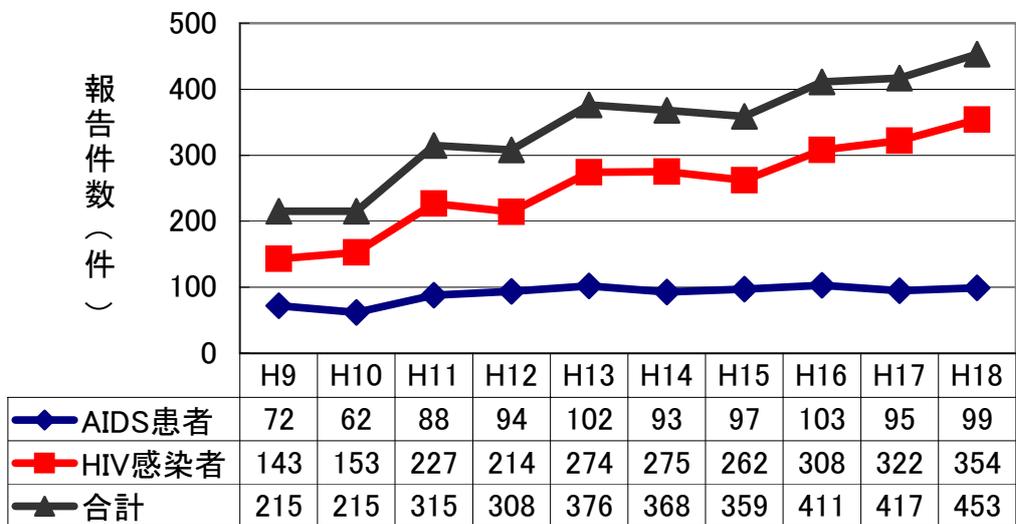
- 1 平成18年、新たに報告されたHIV感染者・AIDS患者を合わせた数は453件となり、過去最多となった。特にHIV感染者は前年(平成17年)と比べ32件増加し、354件で過去最多であった。(図-1)
- 2 日本国籍男性の性的接触による感染が増加しており、特に同性間性的接触による報告が増加している。(図-2、3)
- 3 HIV感染者は20～30歳代の今後社会を担う世代に、AIDS患者は30～50歳代の働き盛りの年代に多い。20歳代未満のHIV感染者報告数が10件と過去最多であった。(図-4)
- 4 東京都南新宿検査・相談室の検査件数はやや減少したが、都内の保健所は前年よりも約2割増加し、東京都全体としての検査件数も増加した。なお、陽性件数は、いずれの検査機関でも前年より増加した。(図-6)

1. HIV感染者及びAIDS患者の発生動向

図-1
HIV感染者及び
AIDS患者報告数
推移
(過去10年)

ひとくち
×E

HIV感染者；
HIV(ヒト免疫不全ウイルス)が
体内に入り、
「感染」した状態
になっているが、「発症」
していない状態。



前年(平成17年)と比べ、HIV感染者は32件増、AIDS患者は4件増の報告数であった。
HIV感染者報告数は過去最多、AIDS患者報告数は過去3番目となった。

本報告は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、東京都に平成18年、法定報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

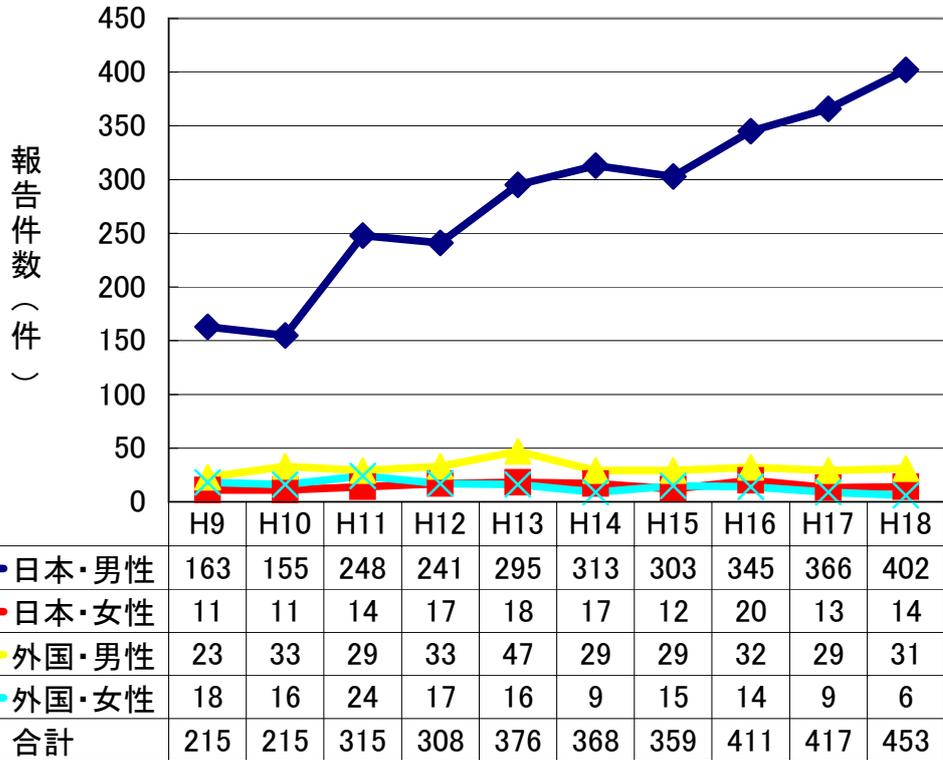
なお、HIV感染者・AIDS患者の報告数、相談件数、検査件数については、過去のデータを見直し、更新されている。

また、図表中では、平成をH、東京都南新宿検査・相談室を南新宿と記載し、HIV/AIDSは、HIV感染者とAIDS患者を合わせた数である。

図-2
HIV/AIDS
国籍、性別推移
(過去10年)

ひとくち
×E

AIDS患者；
HIVにより免疫機能が低下し、「指標疾患」と呼ばれる決められた疾患の症状が認められた場合。無治療の場合、感染から症状が出るまで、数年から10数年かかるといわれている。

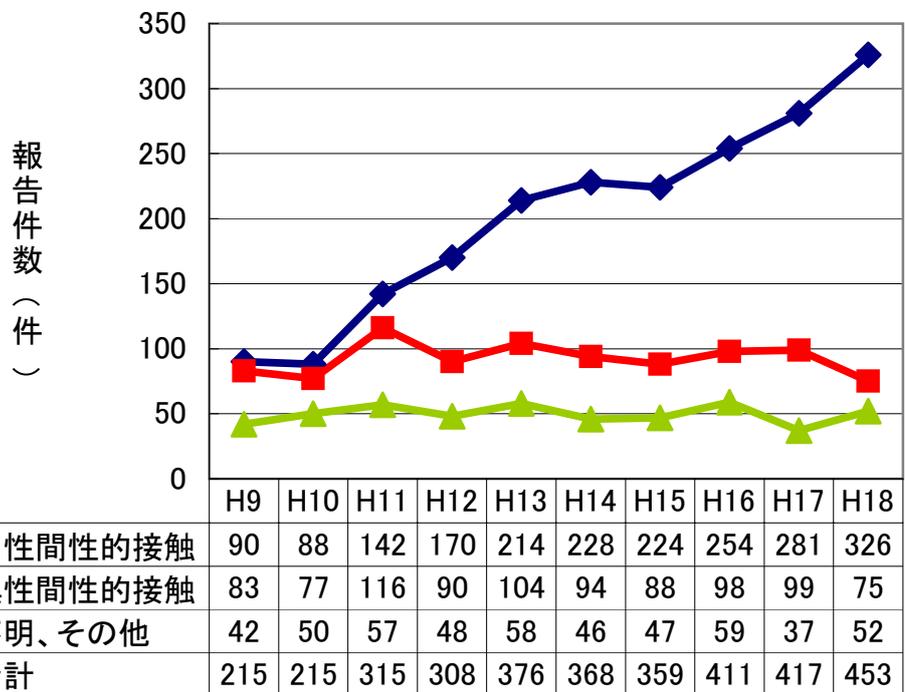


日本国籍男性の報告数が、ここ10年間で2倍以上増加しており、近年においても増加している。
外国国籍男性の報告数は、近年ほぼ横ばいで推移している。
日本国籍と外国国籍の女性は、近年増加傾向はみられていない。

図-3
HIV/AIDS
推定感染経路別推移
(過去10年)

ひとくち
×E

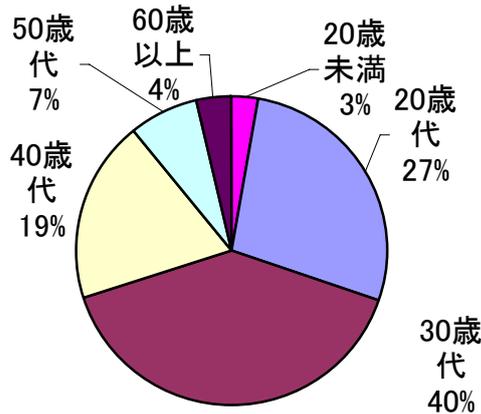
不明、その他；
感染経路が不明や複数であったり、母子感染や静注薬物濫用の可能性のある経路などが含まれる。



同性間性的接触による報告数が増加しており、ここ10年間で3倍以上の増加となった。
異性間性的接触による報告数は、近年増加傾向はみられていない。

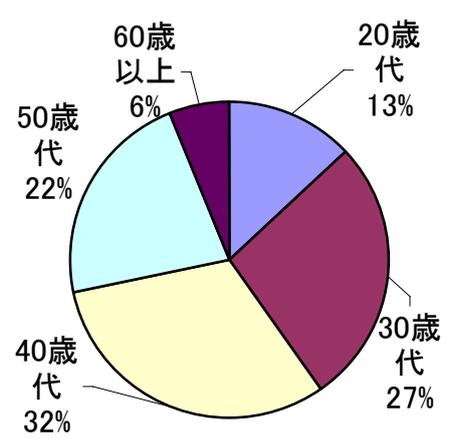
図-4
HIV感染者及び
AIDS患者の
年齢別割合
(平成18年)

(1)HIV感染者



	HIV(件)
20歳未満	10
20歳代	97
30歳代	141
40歳代	68
50歳代	25
60歳以上	13

(2)AIDS患者



	AIDS(件)
20歳未満	0
20歳代	13
30歳代	27
40歳代	31
50歳代	22
60歳以上	6

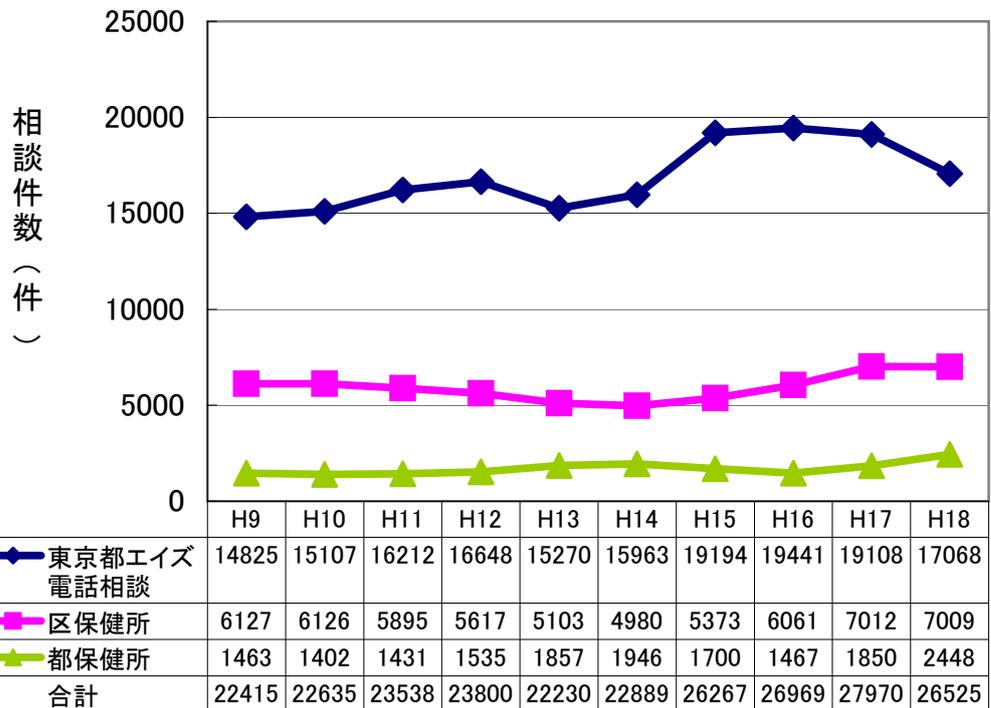
HIV感染者報告数は今後社会を担う20歳代及び30歳代に多く、AIDS患者報告数は働き盛りである30～50歳代が多い。
20歳未満のHIV感染者報告数が、10件と過去最多であった。

2. 相談・検査体制

図-5
エイズの電話
相談件数
の推移
(過去10年)

ひとくち
XEM

東京都エイズ電話相談；
03-3292-9090
平日は午前9時から午後9時まで、
土・日・祝日は午後2時から5時まで
エイズ相談に応じている。



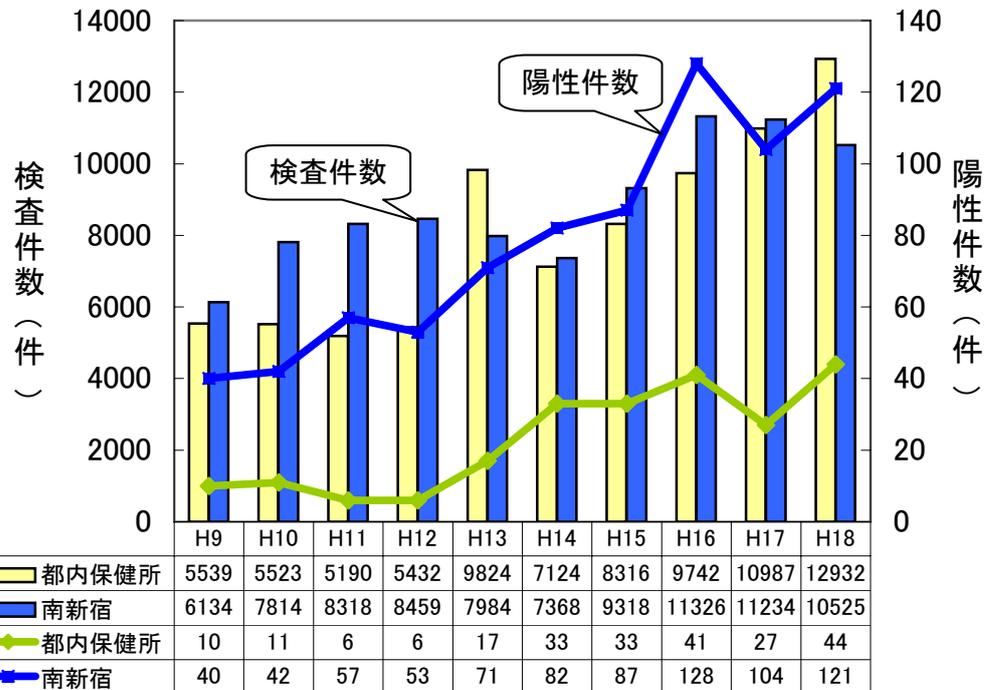
平成15年以降、増加傾向にあったが、平成18年は、やや減少した。
平成18年は、都保健所の相談件数が、約3割増加した。

*「東京都エイズ電話相談」は、平成10年以前はエイズ対策係で行っていた電話相談の件数が含まれている。平成11年以降は、すべて「東京都エイズ電話相談」の件数である。

図-6
HIV検査件数及び陽性件数の推移
(過去10年)

ひとくち
×E

東京都南新宿
検査・相談室；
新宿駅南口すぐ
そばに位置する
無料・匿名でHIV
検査が受けられ
る検査機関。
平成5年9月に平
日夜間の検査が
開始され、平成
15年4月より、土
日の午後も検査
を開始した。
事業は、東京都
医師会に委託し
ている。



HIV検査件数は、近年増加傾向である。
東京都南新宿検査・相談室の検査件数は、土・日曜日の検査を開始した平成15年以降は、増加傾向にあったが、昨年はやや減少した。
都内の保健所では、平成16年以降、HIV即日検査を導入した保健所があり、前年(平成17年)と比べ、約2割増加した。
陽性件数は、ともに前年より増加した。

発行：東京都福祉保健局健康安全室感染症対策課エイズ対策係
郵便番号163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4487 ファクシミリ03-5388-1432
e-mail S0000312@section.metro.tokyo.jp

★ 東京都南新宿検査・相談室(無料・匿名・電話予約)

月曜日から金曜日：午後 3時から午後 8時まで。

土・日曜日：午後 1時から午後 5時まで。

電話予約制 03-3377-0811

<予約受付時間>

月曜日から金曜日：午後 3時 30分から午後 7時まで。

土・日曜日：午後 1時から午後 4時 30分まで。なお、検査受付は業務時間の30分前まで。

* 聴覚障害の方のみ、ファクシミリでの予約申込みができます。

ファクシミリ 03-3377-0821

予約受付時間 月～金曜日：午後 3時 30分～午後 7時まで。

土・日曜日：午後 1時～午後 4時 30分まで。

★ 東京都エイズ電話相談 電話 03-3292-9090

月曜日から金曜日：午前 9時から午後 9時まで。土・日・祝日：午後 2時から午後 5時まで。

※エイズに関する相談・検査(匿名・無料)は各保健所へ
(一部、性感染症検査も同時に可能)